

11 住み続けられる
まちづくりを



城山中学校

2年

R5. 9/11～9/14

国語

郷土のよさを伝えよう

「郷土のよさ」についてレポートをまとめよう

ねらい

- 身近な地域の情報から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを絞り込むことができるようにする。
- 相手のことを意識しながら、表現の効果などを確かめ、レイアウトの工夫や文章の推敲をできるようにする。
- 地域の魅力を再確認するとともに、その魅力をどのように活用したらよいか考えさせることで、自分たちの郷土をより良くしようという意識を持たせる。

日程と内容

- 第1時…郷土のよいところを見つめなおし、調べるテーマを決める。
- 第2時…タブレットを用いて、テーマに沿った情報を集める。
- 第3時…集めた情報を整理し、郷土のよいところとその魅力の活用方法について、レポート用紙かGoogleスライドを用いてまとめる。

SDGsと大谷石

大谷石でsdgsに貢献できそうなものとしてあげられるのは

- ・家を大谷石で作って火事の被害を最小限に抑える（11）
- ・大谷石の採掘量を増やすなどして効率よく大谷石を使えるようにする（12）など

※最後の数字はSDGsの番号

大谷には様々な魅力が詰まっており、バリアフリーも充実しています。

一度観光に来た人たちがまた来ようと思えるはずです。

そして、住んでいる人が住みやすいように年々改良されています。自然豊かでとても住心地のいい町です。

SDGsの住心地のいい町になっていると思います。

（生徒のスライドより一部抜粋）

成果と課題

調べ学習を通して、自分たちが住んでいる地域の魅力について再認識することができた。また、地域の魅力をどのように活用するか考えさせることで、自分たちの地域の将来について意識させることができた。

しかし、調べる時間が授業全体の大半を占めてしまい、読み手を意識したレイアウトの構想や文章の推敲といった、国語の授業として大切にしなければならない活動の時間が少なくなってしまった。今後は、限られた時間内で、必要な情報を探し出す能力を伸ばす必要があると考えられる。